

大東市オリジナルの防災支援システム及び防災アプリの運用について

◆ 目的

防災支援システム及び防災アプリの導入をして、情報の処理・意思決定の迅速化を図るとともに、処理した情報及び決定した事項を防災アプリにより、市民へ必要な情報を迅速かつ確実に提供する。

◆ 経緯

本市の災害対応は、職員の手作業により情報処理を実施していたが、処理能力に限界があることから、デジタル化による災害対応支援を推進して、**災害時の混乱した状況下**においても、**被災状況を正確に把握・処理**して、**迅速に意思決定を行い**、**市民へ情報発信**を行わなければならない。

そのためには、**防災支援システムと防災アプリを連動**させ、短時間に災害対応を行い、その情報を発信することとした。

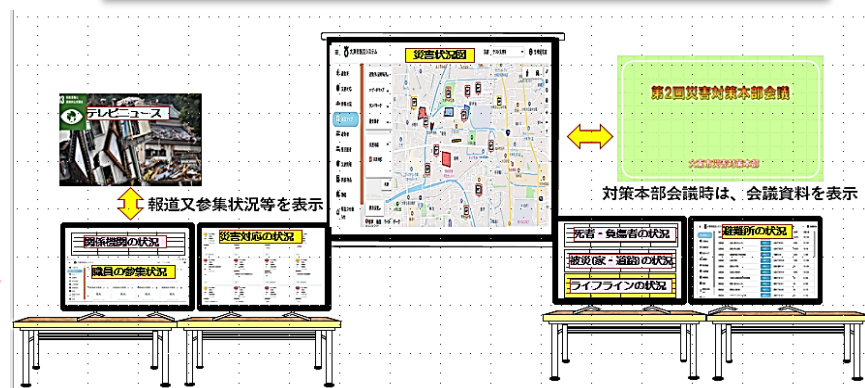
◆ 防災支援システムの機能

- **すべての端末で情報の共有が可能**
- **被災情報を集約、処理して画面上に表示**
- **避難所開設状況及び混雑状況を表示**
- **避難者のリスト化に伴い安否確認が可能**
- **避難行動要支援者の避難状況の把握が可能**
- **職員の参集状況の可視化**

◆ 防災アプリ

- **避難情報等、各防災に関する情報を市民へ配信**
- **本市の被災状況の配信**（道路・橋梁の被災、火災発生等）
- **開設している避難所及び混雑状況の確認が可能**
- **避難所までの安全な避難経路を自動検索**（被災場所を迂回）

防災支援システム（モニター類）のイメージ



※新庁舎建設後はマルチビジョンの導入を検討

防災アプリの表示イメージ

